

カリキュラム一覧

	1年次			2年次			3年次			4年次				
教養科目	倫理学 地域活性化論 統計学 情報機器の操作I	日本国憲法 生物学 論文作文技術I 情報機器の操作II	心理学 数学 論文作文技術II	化学	物理学		国文学 歴史学	法学 社会学	経済学 自然科学概論					
外国語科目	英語A I 英語B II	英語A II	英語B I	ドイツ語 I フランス語 II	ドイツ語 II	フランス語 I				英語C I	英語C II			
保健体育科目	体育 I	体育 II												
専門教育科目	専門に 関する科目	家政学原論 保育原理 ピアノ基礎II 基礎ゼミII 食物学概論	教育原理 保育の心理学 被服・調理の基礎実習 家庭管理学概論 児童文学	教育心理学 ピアノ基礎I 基礎ゼミI 被服学概論	教育課程論 ICTの基礎	声楽 I ICT活用法	声楽 II	卒業研究 I 児童心理学研究法	卒業研究 II	児童文化論	卒業研究 III 教育法規論 教育方法演習 A 教育方法演習 D	卒業研究 IV 教育史 教育方法演習 B	教育社会学 人権教育論 教育方法演習 C	
	教科に 関する科目	生活	音楽 I	音楽 II	国語 I 社会 B 理科 B 小学体育 A	国語 II 算数 A 図画工作 A 小学体育 B	社会 A 理科 A 図画工作 B	算数 B	家庭	小学英語				
	各教科の 指導法に 関する科目				生活科教育法			国語科教育法 理科教育法 家庭科教育法	社会科教育法 音楽科教育法 体育科教育法	算数科教育法 図画工作科教育法 外国語(英語)教育法				
	領域に 関する科目	子どもの人間関係	子どもの環境		子どもの健康と安全 子どもの表現 造形表現 A 子どもの運動あそび II	子どもの保健 ピアノ表現 I 造形表現 B	子どもの言葉 ピアノ表現 II 子どもの運動あそび I		子どもの食と栄養	子育て支援				
	保育内容の 指導法に 関する科目	保育内容総論			人間関係の指導法	環境の指導法	言葉の指導法		健康の指導法 表現の指導法 B I	表現の指導法 A I 表現の指導法 B II	表現の指導法 A II			
	教育の基礎的 理解・実践等 に関する科目	教職の理解			特別支援教育論	道德教育の指導法	教育方法・技術		教育行政 特別活動の指導法 事前事後指導(幼)	総合的な学習の時間の指導法 子どもの理解と援助 教育実習(幼)	教育相談	生徒・進路指導 教職実践演習(幼・小)	事前事後指導(小) 学校教育体験実習 I(小)	教育実習(小) 学校教育体験実習 II(小)
	保育士に 関する科目	保育者論 社会的養護 II	乳児保育 I	社会的養護 I	子ども家庭支援の心理学 障害児保育 保育実習 I B	保育の計画と評価 保育実習指導 I	乳児保育 II 保育実習 I A		社会福祉	保育実習指導 II	保育実習 II	子ども家庭福祉 I 保育実践演習	子ども家庭福祉 II	子ども家庭支援論

※科目名・開講時期が変更となる場合があります。



ピアノ基礎 I・II

小学校教諭・幼稚園教諭・保育士として教材のピアノ伴奏ができる実力を養います。2年間、各学生に応じた細やかな指導により未経験者でも、無理なく技術を伸ばし、ピアノ演奏力を高めていくことができます。



小学体育 A・B

運動の特性・ルールなどを学び、協調・協力から社会的態度の育成など小学校体育教育の質的向上を図ります。「小学体育A」はボール運動・陸上運動、「小学体育B」はマット運動や跳び箱などの器械運動を扱い、表現運動について学びます。



子どもの人間関係

子どもは人間関係を通じて、コミュニケーション能力、ルールを理解する能力、遊びの創造性等を培っていきます。本授業では、演習を多く取り入れ、子どもの人間関係の実際について理解を深め、保育者としてのスキルアップを目指します。



教育課程論

教育課程の基準について、歴史的変遷や最新の改訂における重要事項を学び、編成・実践・評価を円滑に進め教育の質の向上を図るために必要な知識を習得します。教えられてきた側から教える側へと移行する基盤を形成します。



図画工作科教育法

小学校図画工作科目の役割と目標を理解し、指導に必要な材料・用具に関する基礎的な知識と技術を習得します。紙素材による動く人形や立体造形、粘土による造形や版画制作などさまざまな素材や技法を学び、指導目標や理論を理解します。



教育相談

教育相談とは、児童の教育上の問題について、本人または保護者などに、その望ましい在り方を助言し、教育的配慮をすることです。不登校やいじめといった学校現場で生じる諸問題に具体的にに対応できる力を身につけていきます。



子ども家庭福祉 I・II

児童虐待や待機児童問題など、子どもや家庭を巡る問題を身近に感じてもらい、すべての子どもの育ちを社会全体で支えていくことの大切さを理解し、どのような制度が用意され、どのように支援できるのかをこの授業では学んでいきます。



学校教育体験実習 I・II

市内指定小学校の教育活動に参加して体験することで、子どもや教員たちとの交流と活動を通して小学校教諭に必要な知識の定着と指導力の向上を図ります。実習の成果は毎年冊子にまとめられ、次の学年へと継承します。